



大石 航平

前川 未来



ありがとう隊新聞

あけましておめでとうございます
今年もよろしくお願ひ致します

脇元 真由美

小幡 厚子

年末には向方での門松作りや、しめ縄づくりも体験、松島ではおやす作りにも参加し、うるとら軽微隊の蕎麦打ち宅配のお手伝いもさせて頂きました。1月3日の向方おきよめ祭りもお天気に恵まれ、寒い中でしたが初めてお手伝いしながら舞も堪能でき、撮影もできました。

現在、今までにYouTubeにアップした動画「おきよめの神の物語」メイキング映像も第3弾までと9月に小島千絵子さんと藍羽さんが奉納演奏された模様をケーブルテレビにて放映されてますのでお時間が合えば、ぜひご覧ください。

PR動画の編集作業も期限が迫つて参りましたので今月はデスクワークが多くなりそうです。

この冬は寒いよ！と皆さんに言われて：ちょっとビビつてますが、今後の活動も模索しながら・沢山の方々と交流できるよう、体調や運転にも気をつけて頑張つていきますので、気軽に声かけ下さい。

今年もよろしくお願ひいたします。

脇元まゆみ



(記 片山 素晴)



素晴らしい暮らし

明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

今年の冬は寒いですね。松島・西原・清水と地元(南信濃)を見ると、1月(1日から16日)の平均気温は0°Cで過去22年で3番目、最低気温の平均はマイナス4.7°Cで2番目になりました。寒さになりました。寒い冬を耐えるには、良い事を考えないとやつていられません。ネットで探しました。「雪は豊年の瑞」という言葉が見つかりました。雪解け水で干害の心配がなく豊作(主に稻作)が期待できるといった意味のようです。稻作にも虫限らず水が豊富なことは良いことです。寒さで虫の発生が抑えられ、春野菜が順調に育つこと願いが実現するといふ春を待ちましょう。

昨年も書いた気がしますが、今年も雪で転んでしまいました。外出の際は足元にお気をつけください。

まつちゃんのホウレンソウ

報告者：松川友哉

【陸月】

日々こくしん

おまけ

●ご報告
本年もよろしくお願ひします。
四月より家族も移住してまいります。妻と子供2人共々、
「迷惑をお掛けしますがよろしくお願ひします。

●ご連絡
現在、和知野川キャンプ場は休業中です。来年度以降の
計画を考え実行していくための時間に充てて参ります。

●ご相談
引き続き村内を回らせていただきます。キャンプができる
ようないな場所をウロウロしたいと思います。
よろしくお願ひします。
(松川携帯：090-4549-3223)



向方のおきよめ祭りを見学させていただきました



坂部の神事に参加させていただきました



原のどんど焼きに参加させていただきました



●和知野川キャンプ場 営業日：土・日・祝
営業時間：午前9時～午後6時
村内のお茶・肉・野菜・氷・キャンプ用品など販売中

天龍村で初めて迎えたお正月。十二月の半ばにやまびこデリも、年末年始に配達業務において長いお休みをいたしましたが、一月十一日(火)より、通常通り、配達を再開いたしました。道が悪いときは無理しなくていいからね。」「危なくないよう」に来てくれればいいからね。」「気を付けてね。」などたくさんのお心遣いをいただき、本当に感謝しております。皆さんのお言葉を支えに、この厳しい季節を乗り越えていきたいです。配達のこと、商品のこと、やまびこデリの活動のこと、何か気になることがありましたらお気軽にお尋ねください。可能な範囲でお答えできたらと思います。今年も一年、たくさんの方の笑顔に出会えることを楽しみに、安全第一、元気に配達をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

天龍村で初めて迎えたお正月。十二月の半ばにおやす作りを体験させていただき、そのときに自分で作ったおやすを飾つて、新年を迎えることができました。楽しくて貴重な体験でした。教えていただいた皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございます。そして年が明け、一月三日には向方地区のお祭りを見ることができました。また、その次の週にはどんど焼きにも参加させていただくなど、天龍の一年を満喫しています。

おやすづくり。
お正月飾りがたくさん集まりました！
どうにか記憶に残したいです。
少し懐かしい気持ちになりました。

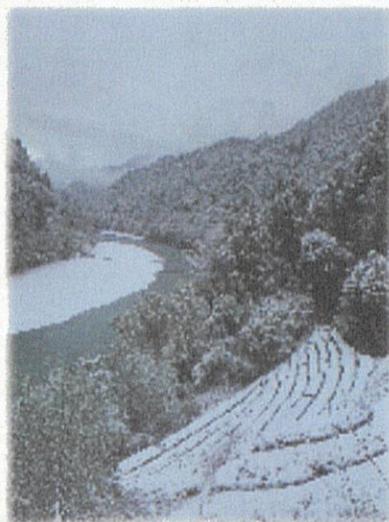


十二月からの活動

(文・篠田 大樹)

十二月からふるさと納税で中井侍紅茶を扱っていた様子。京からが多く、少しでも村の特産の名になつたとすれば嬉しいです。いざなす組合では畑の土壤改良のための竹チップ作りを行いました。大量にチップが出来、山が竹で荒れるのも防げていい循環の仕組みだと思います。畑の方も片付けがだいぶ進みました。また次の作付けに向けて土作りもやつて行きたいと思います。また、梅花駅伝に向けて十二月十日頃から毎日走っています。コロナの再拡大により開催が微妙な状態ですが年に一度の大きな行事なので収まつてなんとか実施でき、村内が盛り上がるとともに、個人的にもトレーニングの成果が発揮できると嬉しいです。

一月に入るとたまに雪が積もるようになり、過去二年と比べかなり降っているので驚いています。今年も茶畑の珍しい銀世界の写真を取ることができました。



天龍村きりんちゃん月記

小幡厚子(季報)

1月3日の「向方のおきよめ祭り」もお陰様で盛況のうちに無事に終えることが出来ました。ありがとうございました。私は事では、先日、急遽だったチェーンソー体験をする機会をいただけ、おきよめ祭りで使用する薪を切らせて頂きました。3年前に「信州つなぐラボ」で初めて向方地区を訪れた際に、さまざまな理由で、山の手入れが出来ず、放置されている山林が多くある事を知り、林業女子を目指そうかと考えた時期もありましたが、今年還暦を迎えたので、実際に「チェーンソー」で木を切らせて頂けたときは大感激でした。

SNSで木を切る動画をアップしましたが、「小幡さんが出来るなら、私も出来る」と思って、林業に興味を持つてくれる方が1人でも増えてくれたらうれしい限りです。

私が天龍村に移住を考えた理由の1つは、予防医学的見地からも里山の環境を次世代に良い形で残していくべきという考えに行きついたことがあります。「飲めるレベルの水が湧いていて」、「毎日食べるモノ(野菜やお米)を自分で作れる」環境というのは、村の皆さんにとっては当たり前の環境だとおもいますが、「健やかに生きていぐ」為には、とてもとても価値があることなのです。(農薬や化学肥料をつかってしまうと残念ながら価値が半減してしまいますが)

私の役割は、私に残された時間を考慮すると、次世代にこの価値を手渡すつなぎ役と思っています。まずは、里山での暮らし方を自身で一つ一つ教えていただきながら、次代へと伝えていければと思います。



おきよめ祭り 勇壮な剣の舞



へっぴり腰でチェーンソー初体験

一月の活動内容

はじめて長野県で冬を過ごすことになり、厳しい寒さを感じしている毎日ではあります。自身の活動といたしましては、まとめた内容（天龍村中世の歴史）を各戸回覧として配布することになりました。今月は回覧配布のための最終調整を行いました。

諸活動について

一月八日には、上田市の長野大学にて、学生からの質疑応答に答える形で「地域調査演習」を行いました。テーマにした講義として参加しました。

天龍村歴史まとめについて

今月から、まとめた内容を回覧として各戸配布させていただきました。この活動を始めて半年と少しが経過しましたが、ようやく形になることができました。

記
大石
航平



～裏山探検日和～

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。さて私の裏山探検ですが、11月15日から狩猟期間となり、裏山を中心に行いました。

獵果としては、12月に入り、鹿など数頭を捕獲することができ、自然の恵を頂戴することができました。また天龍村に来て本格的に始めた狩猟ですが、改めて命に感謝しているところです。

昨年は鹿を中心に捕獲ましたが、鹿の生態を学んでいた時に、書物に面白いことが書かれていたので紹介したいと思います。

学名は、「Cervus nippon」と言います。学名に”nippon”とついていますが、日本の固有種ではなく、学名をつけた学者が「日本で見かけたから」という単純な理由で特別な意味はないそうです。

生息域も、北はロシアから南はベトナム北部まで広く分布しています。またニホンシカは、万葉集の一節にも出てくるなど、日本文化に馴染みも深い事が伺われます。

英語表記で表す場合も、「deer」の他に、そのまま「sika」と表記することもあるそうです。蘊蓄が長くなりましたが、今月も裏山探検に精を出します。